



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社  
 コード番号 6737 URL <http://www.eizo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 有生 學 TEL 076-275-4121  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	57,837	6.4	5,648	59.4	5,808	33.1	4,596	43.8
28年3月期第3四半期	54,363	5.4	3,543	19.6	4,364	23.3	3,195	23.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 7,754百万円 (89.9%) 28年3月期第3四半期 4,083百万円 (△42.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	215.57	—
28年3月期第3四半期	149.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	111,445	84,166	75.5	3,947.66
28年3月期	104,792	78,011	74.4	3,658.95

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 84,166百万円 28年3月期 78,011百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
29年3月期	—	40.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	2.8	5,700	12.2	6,100	7.0	4,400	4.7	206.37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	22,731,160株	28年3月期	22,731,160株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,410,426株	28年3月期	1,410,426株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	21,320,734株	28年3月期3Q	21,320,812株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では雇用環境に改善がみられるなど景気は緩やかな回復が持続しましたが、英国のEU離脱問題等、先行きは不透明な状態が続きました。米国では雇用環境の改善を背景に、個人消費を中心に景気は緩やかに拡大しました。日本経済では、一部に改善の遅れがみられるものの、第3四半期において円安・株高が進行したこと等で個人や企業の景況感に持ち直しの兆しがみられ、景気は緩やかながらも回復基調をたどりました。

このような状況の下、当社グループは、「Visual Technology Company」への更なる展開を進めてまいりました。主な取組みとして、ビジネス用途向け（Business & Plus:B&P）では、ユーザーに配慮した徹底したスリム化と、デザインや性能を追求した商品の開発を推進し、画面の額縁全辺を超狭額縁化し機能及び美しさを兼ね備えたフレームレス・フルフラット液晶モニターを発売しました。重点市場であるヘルスケア、クリエイティブワーク、インダストリーを総称したV&S（Vertical & Specific）市場向けでは、事業拡大のための研究開発や最適な映像環境ソリューションの提供等に注力するとともに、モニターの販売増加に対応するために新工場にて大幅な生産効率の向上を実現した生産ラインの操業を開始しました。M&Aにつきましては、パナソニックヘルスケア(株)より手術・内視鏡用モニター事業を2016年7月に買収し、ヘルスケア市場向けの事業基盤を更に強化いたしました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、57,837百万円（前年同期比6.4%増）となりました。  
品目別の売上高は次のとおりであります。

#### [映像表示システム]

売上高は39,355百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

B&P市場は、海外においてフレームレスモニターが引き続き好調に推移したものの、円高による為替影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

V&S市場は、欧州でのインダストリー市場向けや、米国でのヘルスケア市場向けの販売が好調であったこと、また、ヘルスケア市場向けインテグレーション事業や、第2四半期において買収した手術・内視鏡用モニター事業の売上が寄与したこと等により、売上高は前年同期に比べ増加しました。

#### [アミューズメント用モニター]

売上高は15,718百万円（前年同期比37.8%増）となりました。

第2四半期までに検定時と性能が異なる可能性がある遊技機の撤去による入替需要に対し、資材調達や生産面において柔軟な供給対応ができたことにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。

#### [その他]

売上高は2,764百万円（前年同期比29.9%減）となりました。

これは主に、アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が減少したことによります。

売上総利益は、円高による利益のマイナス影響があるものの、ヘルスケア市場向けやアミューズメント用モニターの増収等により2,238百万円増加し、売上総利益率は2.1ポイント上昇しました。販売費及び一般管理費は、V&S市場向けの研究開発活動の強化による増加があるものの、リーン化推進の効果もあり、前年同期とほぼ同水準となりました。

以上の結果、営業利益は5,648百万円（前年同期比59.4%増）、経常利益は5,808百万円（同33.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,596百万円（同43.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産及び負債の状況は、海外での販売台数の増加に対応し棚卸資産が増加しました。また、保有株式の評価替えに伴い投資有価証券、繰延税金負債及びその他有価証券評価差額金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較し、資産の部は6,653百万円増加し111,445百万円、負債の部は498百万円増加し27,278百万円、純資産の部は、6,155百万円増加し84,166百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月9日の「平成28年3月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当会計方針の変更による影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,221	7,549
受取手形及び売掛金	17,138	14,078
有価証券	13,796	17,818
商品及び製品	8,803	10,486
仕掛品	5,111	4,982
原材料及び貯蔵品	9,996	9,255
その他	2,830	2,354
貸倒引当金	△124	△94
流動資産合計	64,772	66,429
固定資産		
有形固定資産	11,001	11,394
無形固定資産	1,714	1,949
投資その他の資産		
投資有価証券	26,528	31,011
その他	775	660
投資その他の資産合計	27,303	31,672
固定資産合計	40,019	45,015
資産合計	104,792	111,445
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,994	6,477
短期借入金	1,912	1,840
未払法人税等	830	491
賞与引当金	1,249	796
ソフトウェア受注損失引当金	—	7
製品保証引当金	1,842	1,871
その他	5,653	5,387
流動負債合計	17,482	16,871
固定負債		
役員退職慰労引当金	101	101
リサイクル費用引当金	993	911
退職給付に係る負債	2,988	3,020
その他	5,214	6,373
固定負債合計	9,298	10,407
負債合計	26,780	27,278

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	58,891	61,888
自己株式	△2,661	△2,661
株主資本合計	64,969	67,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,502	16,700
為替換算調整勘定	△126	△263
退職給付に係る調整累計額	△333	△236
その他の包括利益累計額合計	13,042	16,200
純資産合計	78,011	84,166
負債純資産合計	104,792	111,445

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年12月31日)
売上高	54,363	57,837
売上原価	38,183	39,419
売上総利益	16,180	18,418
販売費及び一般管理費	12,637	12,770
営業利益	3,543	5,648
営業外収益		
受取利息	20	7
受取配当金	437	484
有価証券売却益	431	11
その他	75	48
営業外収益合計	964	550
営業外費用		
支払利息	1	0
売上割引	54	51
為替差損	82	328
その他	4	10
営業外費用合計	143	390
経常利益	4,364	5,808
特別損失		
減損損失	59	—
特別損失合計	59	—
税金等調整前四半期純利益	4,305	5,808
法人税、住民税及び事業税	995	896
法人税等調整額	113	315
法人税等合計	1,109	1,212
四半期純利益	3,195	4,596
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,195	4,596



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	3,195	4,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	796	3,198
為替換算調整勘定	4	△137
退職給付に係る調整額	87	97
その他の包括利益合計	888	3,158
四半期包括利益	4,083	7,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,083	7,754
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

## 4. 補足情報

## 販売の状況

品目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年12月31日)		増減
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)
映像表示システム	39,011	71.8	39,355	68.0	343
アミューズメント用モニター	11,408	21.0	15,718	27.2	4,309
その他	3,943	7.2	2,764	4.8	△1,179
合計	54,363	100.0	57,837	100.0	3,474

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。